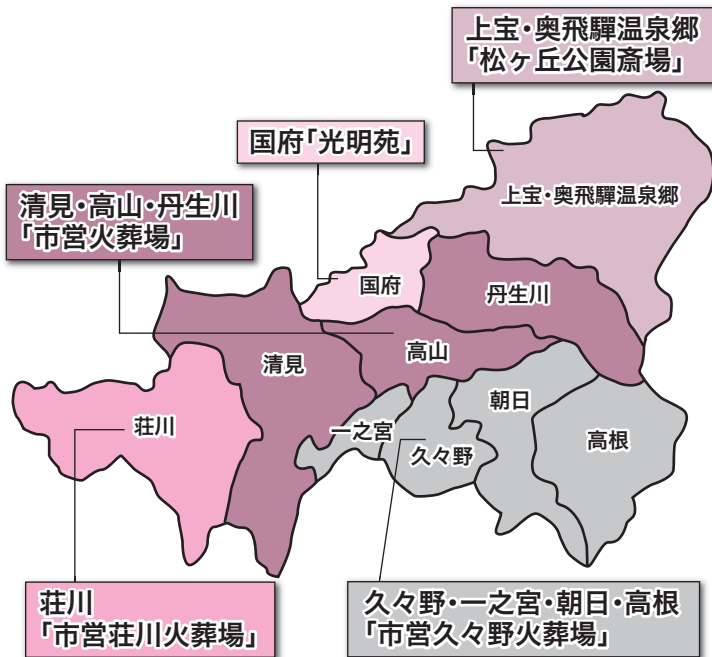


# 高山市営火葬場を新しく

将来の火葬需要を考えながら、候補地を探します

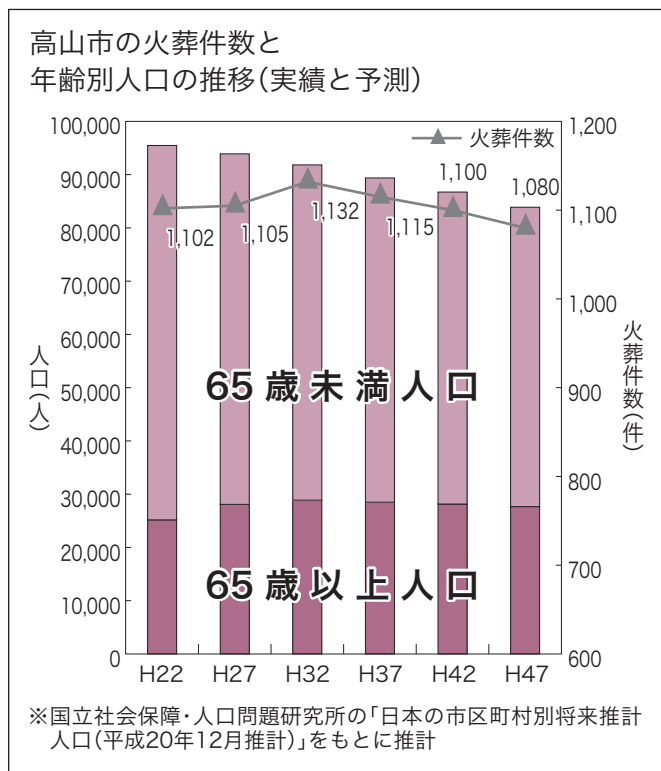
## ●現在の火葬場が受け持っている地域



※この図によらず、市民のみなさんの火葬は、3カ所のいずれの市営火葬場でも無料で行うことができます。

市では、老朽化する市営火葬場に対応するため、将来にわたる全市的な火葬件数や、地域別に受け持っている火葬場の対応範囲などについて検証し、今後、新しく建設する火葬場の機能や位置についての

基本的な方針を検討しています。  
**火葬の現状**  
 市の平成22年度の火葬件数は1102件で、これを日平均にすると1日あたり約3件



となりまます。  
 おおくなりになった方は、市内3カ所の火葬場と飛驒市にある2つの火葬場のいずれかで火葬されますが、基本的には合併前からの慣例で、上図のようにそれぞれの地域の火葬場で火葬を行っています。

**今後の火葬件数の見込**  
 市の死者数の見込は、高齢者人口の増加に伴い年々増加し、平成32年頃にピークを迎えると予想しています。その後は全体的な人口減少により、死亡者数も徐々に減少する時期にきています。

このうち、西洞町の市営火葬場は、昭和28年建築と古く、炉の内部修繕など定期的に行い、58年もの間、大切に使用してきましたが、これに代わる新しい火葬場の建設を計画する時期にきています。

と予想されます。  
 人口と同様に、市の火葬件数も、平成32年度まで徐々に増加し、1132件程度を最高に、それ以降、徐々に減っていくと予想しています。

## 今後の考え方のポイント

新しい火葬場の規模については、現在、使用中の火葬場耐年数や今後の火葬件数の予測などをもとに、炉の数や機能などを考えていきます。

基本的な機能や規模が決まれば、次に、どういったコンセプトの施設にするかの検討に入ります。そのコンセプトにより、候補地となる場所の広さや地形、環境などが決まってきます。

現在、候補地などについて何件かのご提案をいただいております。今後も市民のみなさんからのご意見やご提案をいただきながら、最適な場所を探していきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

問合先  
 市民課  
 ☎35,3496